# 研究開発内容説明書

［様式2]

本様式は15頁以内でまとめてください。ただし、理解を深めるために必要な場合は、写真・グラフ等、追加の補足資料として本資料とは別に日本工業規格A列4番5頁まで認めます。

作成言語は原則日本語ですが、英文による作成も可能です。

|  |
| --- |
| 研究開発課題名を記入してください。 |

プログラム名：重点領域型研究開発（先進的通信アプリケーション開発型）

１　研究開発概要（詳細）

(1) 背景・目的

タイプⅡ（フェーズⅠ）への提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて記述してください。

本提案の背景となる社会的課題、社会的ニーズ、目的等について具体的に記述してください。

(2) 内容

タイプⅡ（フェーズⅠ）への提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて記述してください。

研究開発を行う通信アプリケーションについて記述してください。また、同アプリケーションによりもたらされる成果・効果（製品・サービス、その効果・メリット等）について具体的に記述してください。

研究開発を行うアプリケーションが対象とするネットワーク基盤（「ＩＰ仮想化ネットワーク」、「Open Flow」、「オーバーレイネットワーク」、「Ｍ２Ｍ／センサーネットワーク」等）を明示し、どのように利用するのか記述してください。

研究開発手法（使用するソフトウェア、検証環境等を含む）、研究開発工程等について記述してください。なお、独立行政法人情報通信機構（ＮＩＣＴ）が構築・運用する新世代通信網テストベッド（ＪＧＮ－Ｘ）やモバイル・ワイヤレステストベッドの利用計画があれば記述してください。これらのテストベッドを利用せず、自社等が保有するネットワークを利用して開発・検証等を実施する場合はその旨及び当該ネットワークの機能等の概要を記述してください。

２　研究開発成果（アウトプット目標・アウトカム目標）及びその達成方法

(1) 研究開発目標（アウトプット目標・アウトカム目標）

タイプⅡ（フェーズⅠ）への提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて記述してください。

研究開発により得られるアウトプット目標（試作ソフトウェア、特許等、開発により直接得られる成果）及びアウトカム目標（研究開発成果を使って得られる製品・サービス等）を記述してください。また、周辺分野の研究開発動向を踏まえ、その目標を設定した根拠について明確に記述してください。

(2) 波及効果

タイプⅡ（フェーズⅠ）への提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて記述してください。

研究開発成果により期待される波及効果（イノベーションや新市場・新産業の創出、社会的課題の解決、国際競争力の強化、人材育成・コミュニティ形成等）を記述してください。

(3) 目標の達成方法

タイプⅡ（フェーズⅠ）への提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて記述してください。

(1)で記述した目標を達成するための方法について、具体的に記述してください。なお、独立行政法人情報通信機構（ＮＩＣＴ）が構築・運用する新世代通信網テストベッド（ＪＧＮ－Ｘ）やモバイル・ワイヤレステストベッドの利用計画があれば記述してください。これらのテストベッドを利用せず、自社等が保有するネットワークを利用して開発・検証等を実施する場合はその旨及び当該ネットワークの機能等の概要を記述してください。

３　研究開発計画

研究開発計画（主要研究設備のリース・レンタルの計画、購入計画等網羅的に）を立て、費用対効果についても可能な限り定量的かつ具体的に記述してください。タイプⅡ（フェーズⅠ）への提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて、フェーズⅠ及びフェーズⅡそれぞれについて記述してください。

４　成果展開計画

研究開発成果による製品・サービスへの展開計画等について記述してください。

（記載項目例）

* 成果の特徴・優位性
* 展開に向けた戦略・方法
* ターゲット市場、想定するサービス
* スケジュール（成果展開までのマイルストーン）
* 以下のキーワードについても参考にしてください。

*新マーケット開拓（マーケット概要）、売上向上（売上規模\*\*％向上）、ダウンロード数（提供方法、提供時期）、開発アプリケーションの事業化（事業者名、事業内容、事業化時期）、コンソーシアム設立（コンソーシアム名、設立時期）、売込(売込先、売込内容、予算規模)、製品化(製品名、事業者名、価格規模、製品化時期)、国際標準化(標準化機関、会議名、標準化技術、標準化時期)、オープンソース（ソース内容、提供方法、提供時期）等*

タイプⅠへの提案の場合は、具体的に記述してください。

タイプⅡ（フェーズⅠ）への提案の場合は、可能な範囲で現在の想定する展開計画を記述してください。採択後、研究開発期間中に具体的な成果展開説明書を作成してください（選抜評価時の評価対象となります。）。また、成果展開に向けた検討のための外注（関連市場の動向調査、事業化を含む成果展開に向けた計画等の策定等）を予定している場合、その請負内容や請負先を記述してください。

成果展開説明書作成の際の参考として次の手引きもあります。必要に応じて参照してください。

http://www.soumu.go.jp/main\_content/000170365.pdf

５　研究開発成果の目標

(1) 各年度における研究開発成果

目標とする「研究開発成果」を年度ごとに具体的かつ可能な限り定量的に記述してください。タイプⅡ（フェーズⅠ）への提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて、フェーズⅠ及びフェーズⅡそれぞれについて記述してください。また、周辺分野の研究開発動向を踏まえ、その目標を設定した根拠について明確に記述してください。

　　記載例：　平成○○年度　○○技術において△△（数値）の性能を達成。

　　　　　　　　根拠：○○技術は、最終目標である××技術の創出に不可欠な技術であるため、既存の技術を基に◇◇の改良を加えることによって、平成○○年度内に数値目標を達成することを目標に掲げる。

(2) 論文・特許等の発表目標件数

論文・特許等の定量的な数値目標について記入してください。0件の場合は“0”と記入してください。

タイプⅡ（フェーズⅠ）への提案の場合は、フェーズⅡで予定している研究開発も踏まえて、フェーズⅠ及びフェーズⅡそれぞれについて記入してください。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 平成27年度 | 平成28年度 | 研究開発期間終了後 | 合計 |
| 査読付論文掲載目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| その他の誌上発表目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 口頭発表目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 特許出願目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 国際標準提案目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |
| 報道発表目標 | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） | 件（　　件） |

注：（　　）内は、外国語による件数を内数で記載

査読付論文掲載目標：論文誌や学会誌等、査読のある出版物への掲載目標件数を記入してください。

その他の誌上発表目標：専門誌、業界誌、機関誌等の出版物への掲載目標件数を記入してください。

口頭発表目標：査読付き国際会議における発表及びその他の口頭発表目標件数を記入してください。

特許出願目標、国際標準提案目標、報道発表目標：それぞれの目標件数を記入してください。